

鎌高新聞

発行 神奈川県立鎌倉高等学校 校長室

令和3年4月27日 第1号

学び、挑戦！

鎌倉高校のほとんどの生徒は、勉強しなくてはいけないと感じていると思います。「しなさい」と保護者に言われなくても、「しなくてはいけない」と感じていると思います。高校受験の時、鎌倉高校に入学するために受験勉強をしてきたと思います。筆者も棺桶に足を突っ込むまで青春と思い、勉強を続けていかなくてはと思っています。人はなぜ、勉強しなくてはいけないのかという問いに、絶対的唯一つの解答はないと思います。次に一つの話を書きます。

中国に

「人に魚を一匹与えれば、その人は一日食べられる

魚の取り方を教えれば、その人は一生食べられる」

という古い諺があります。勉強の意味を説いた諺といわれています。魚の取り方を教わった人は、舟の作り方や、航海術を身につけなければ、海に行くことはできません。川や池で漁を続ければ、漁場の資源である魚が少なくなり、一日一日を食べるだけの漁獲量の確保はできなくなります。この人はどうすればよいのでしょうか。その解決策を自ら探求し、学んで解決策を考えることが必要となります。漁場を移動すればよいのか。1日の漁獲量を決めておくのか。故に、絶えず勉強する姿勢が大切なのです。

学ぶことは育つことでもあります。学ぶことを身につけることで世界が広がるのです。英語ができるようになれば英語圏の人たちと、コンピュータ技術を身につければ全世界の人たちとコミュニケーションをとることができるのです。無論、天文学物理学を学びコンピュータを用いれば、全世界の天文学者、宇宙物理学者などの方がたとコミュニケーションをとることができるのです。勉強は「将来役立つ」という側面はありますが、自分の世界を創る、広げることの方が大切だと思います。

筆者は、身につけてきた知識を、学校で生徒に教えることに喜びや、やりがいを見つけてきました。確かに、学んできたことは自分の将来のためでしたが、それは人として人間として他人のためになるのかもしれないと考えていました。それ故に、公立学校の教員になったのです。

勉強を積極的に行うようになれば、大きく成長する可能性が拓けていきます。勉強をすることによって学問の扉が開き、その門の中に入って学問の奥深さを知ることになります。筆者の経験でも、勉強嫌いで中学卒業後に工場で働きました。しかしながら職場の先輩からの勧めもあって定時制に入学し、恩師(定時制教頭)に出会いました。その恩師の影響で勉強に目覚め、世界史が好きになりました。世界史が好きになれば、他教科の勉強を面白く感じるようになっていきました。抽象的な概念を把握したり、自分の世界観が広がったりした気がしました。

いまから5年前に中学生棋士として藤井聡太棋士(当時四段、現在八段)が話題になりましたが、それ以前、やはり36年前に中学生棋士として話題になったのが羽生善治九段(永世称号19世名人)です。その羽生九段は「何かに挑戦したら確実に報われるのであれば、誰でも必ず挑戦するだろう。報われなかもしれないところで、同じ情熱、気力、モチベーションをもって継続しているのは非常に大変なことであり、私は、それこそが才能だと思っている。」と言っています。結果として勝ったり、受かったりしなくても継続して努力しつづけることを才能と言っています。人生には、勝てなかったり、受からなかったり、失恋したり数多くの試練があります。人は失敗から学び、振り返りで次に同じような結果にならないようにするから成長するのだと思います。そして成功・成長するから達成感が生まれ、自己肯定感が増すのだと思います。成長のためには、日々勉強なのだと思います。

毎日、勉強するにも目標をたてることを勧めます。「千里の道も一歩から」というように、遠い目標も今日の一日から始まります。富士山を登る一歩と、歩く時の一歩は明らかに違います。普通に歩いている一歩では富士山登頂は難しいのです。富士山を登るという意識で普段歩いていないと登頂できません。

多くの生徒は次のステップに進むために受験をします。次の大学、短大、専門学校への試験科目も大切ですが、上級学校にどのような教員がいるのか。どのような授業があるのか。どのような研究をしているのか。どの程度の施設・設備が整っているのか。などを事前に調べて学校選びをしてください。目標を決めなくては戦略を立てることはできず、戦術も立てられず、闇雲に勉強をするだけになってしまいます。勉強したからと言って必ず成功するわけではありませんが、人生の多くは失敗から学ぶことが多いのです。アメリカの詩人ジョージ・エドワード・ウッドベリーは「敗北は最悪の失敗ではない。やろうとしなかったことが本当の失敗だ。」と言っています。筆者も、成功の反対は挑戦しないことだと思います。

本校の伝統には「文武両道」があります。勉強、部活動、委員会活動、学校行事に力を注ぐところが鎌高生のよいところです。いろいろな事に挑戦し、可能性を広げましょう。そして先輩の後に続き、さらに新しい道を拓いていきましょう。

GW中にも感染予防をしっかり！

コロナが流行して1年が経ち、コロナ疲れやコロナ慣れになっていませんか。いま流行している変異株は若者に広がっています。また、重症化もしています。近頃、学校や職場でクラスターとなったケースも見聞きます。この感染状況を鎮静化・沈静化できないと、昨年同様、十分な高校生活を送ることができず、授業や、学校行事、部活動、委員会活動に影響が出てくると思います。感染状況を悪化させないためにも、ゴールデンウィーク中に不要不急の外出は極力控えましょう。